

I 男女の人権尊重と男女共同参画意識を育てるまちづくり（Aグループ）

現状・課題	理想像	対象事業	意見
<p>事業1, 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セミナー・シンポジウムに若い人の参加者が少ない ○講師が良い人でも集客が伸びない。 ○市職員同士で共有意識を高めているか ○男女共同参画に関する言葉が固いのではないのか 	<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代の意識が高まり、セミナーやシンポジウムなどへの参加者が増える。 ○気楽に聞いて学べた結果「男女共同参画」の意識を高めることができる 	<p>事業1 男女共同参画週間等における特集／男女共同参画関係法令の普及啓発・関連事業のPR</p> <p>事業2 男女共同参画フォーラムの開催／セミナー・シンポジウムの開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○広報の方法に工夫が必要 ○分かりやすいタイトルで知らせる ○男性の参加者が少ないので、退職後の男性なども来られるような取り組みが必要
<p>事業1 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マナー検定は、田代中だけで実施されているが、あいさつなどのマナーが生徒に定着している ○総合学習で地域の人々とともに学ぶ取り組みがあり、地域のことを学び地域の人達と交流する良い機会になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市全体の中学校で行われる ○地域との関わりの中で、地域のことを知ること、子ども達の地域の一員としての意識が高まる ○思いやりや感謝の心が育つ 	<p>事業1 1 進路指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○マナー検定は田代小でも行われており、学校を訪れると児童や生徒が気持ちよくあいさつしてくれて良いと思う ○検定の実施中に「男らしさ」や「女らしさ」などの押し付けにならないように気をつけてほしい ○保護者のあいさつ運動が行われている中学校もあり、地域の中で子どもたちをも守るために、周囲の大人がどうあるべきかを考えることも大切である
<p>事業1 8</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者のDVの相談も受けたことがあるが、飲酒による言葉の暴力や給料を渡さない、認知症など病気によるものなど多様化している ○病気によるDVの相談を地域包括支援センターにしたところ、センターはとてもよくしてくれるが、あまり知られていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○早期に発見、相談、連携して解決につなげる（DVをすぐ相談できる） ○広報宣伝をして相談窓口を多くの人が利用できる 	<p>事業1 8 市民相談における早期発見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市民相談の窓口をさらに周知する ○高齢者の相談窓口として地域包括支援センターをさらに周知する
<p>事業2 0</p> <ul style="list-style-type: none"> ○勤労世帯が多く、母子保健推進員が訪問してもなかなか会えないことが多い ○子どもがいる家庭でも、市報がアパートの住人に届かない例もある 	<ul style="list-style-type: none"> ○母子保健推進員や保健師の訪問により、赤ちゃんや幼児の育児相談できる 	<p>事業2 0 訪問、健診における早期発見と意識啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○きめ細やかな対応を続けてほしい ○地域の人に来てもらって心強い相談相手になっている ○子育て中の方は、思い悩むと外に出たくない人もあるので、多くの人に知ってもらうことが大切

<p>事業22 ○担当者間での情報共有が重要</p>	<p>○相談に関わる連携をはかる</p>	<p>事業22 相談窓口の周知／庁内相談担当者間の連携強化／情報収集と提供</p>	<p>○相談の事例によっては、連絡会議などに専門的な知識を持つ包括支援センターの方も入ることはできないか。</p>
<p>その他の意見 ○食事や家事に対して感謝の言葉を言わないときがある</p>	<p>○家庭内では家族が助け合い、思いやりと感謝の言葉が必要</p>		<p>○身近な人に「ありがとう」ということが大切であると思う。自分が変わらないと人は変わらない。</p>